

2022年度 福井赤十字病院研修プログラム

1. 歯科医師臨床研修プログラムの目的

患者中心の全人的医療を理解し、歯科医師に求められる基本的臨床能力（知識、技能、態度）を身につけ、さらに患者に信頼される歯科医師としての人格の涵養に努めるとともに、近年の少子・高齢化社会に伴う疾病構造の変化や国民の歯科医療に対するニーズの高度・多様化に適切に対応できる、良質で先進的な歯科医療を提供し得る能力を持つ歯科医師となるための生涯研修の第1歩とする。

2. 歯科医師臨床研修の目標

1) ねらい

- ①歯科医師にふさわしい態度を身に付け、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
- ②全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- ③歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身につける。
- ④一般的によく遭遇する応急処置と頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- ⑤歯科診療時の全身的偶発症・事故に適切に対応する。
- ⑥自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身につける。
- ⑦専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修への動機付けをする。
- ⑧歯科医師としての社会的役割を認識し、実践する。

2) 到達目標

「基本習熟コース」については、研修歯科医自らが確実に実践できることが基本であり、臨床研修終了後に習得すべき「基本習得コース」については、頻度高く臨床において経験することが基本である。

3) 目標症例数

外来診療：70例 訪問診療：2例

3. 歯科医師臨床研修プログラムの特徴

- 1) 診療参加のためのスキルの確認、及びスキル向上のための4月、5月初旬で知識、技能、服装などの確認、評価をして、未熟者には高頻度で履修させる。
- 2) 外部有識者による評価
1名の有識者によって本院臨床研修プログラムの評価を受ける。
- 3) スキルアップのため技工室や診療用チェアを時間外にも使用できる。
- 4) 夜間・休日の救急外来でオンコールによる診療体験（応急処置など）ができる。
- 5) 歯科専門医等を目指す研修歯科医には、そのノウハウなどを臨床経験豊富な指導歯科医が指導する。

- 6) 臨床能力の質向上及び臨床研修内容の補完として、各分野が開催する症例報告会、治療計画検討会、勉強会などへ参加ができる。
- 7) 向上心が高く、臨床スキルの高い研修医と認められた者は、指導医持ち患者の高度先進医療が経験できる。
- 8) 在宅・訪問歯科診療を実施している研修協力施設（開業医）で研修ができる。
- 9) 当院で病棟研修を行う。
- 10) 地域連携の一環として、幼児の口腔検診を実践する。
- 11) AHA の BLS 研修を受講、修了認定証の獲得を課している。

4. 募集定員 : 1名

福井赤十字病院研修プログラム : 1名

5. プログラムの日程

(例)研修モデル

4,5月	6,7月	8,9月	10,11月	12,1月	2,3月
新人研修・ オリエンテーション含		基本習熟 基本習得		地域 医療	基本習熟 基本習得

※地域医療・・・地域保健、訪問歯科診療:研修協力施設(坂野歯科医院・松岡保健センター)各1日～5日間

6. 初期研修期間の研修方法とスキル確認項目

1) 4月、5月初旬

(1) 研修方法・内容

- ① 研修初期の1ヶ月半（4月、5月初旬）は、研修歯科医が指導医指導下で、実際の患者の診療を实践する瑕疵として、模型、シミュレーション及び実習などで、下記する臨床スキル確認全項目についてスキルの有無の確認を行い、未熟者には合格基準に到達するまで繰り返し訓練させる。
- ② 保険医の登録（受付）できるまでは、各診療科で指導医の持ち患者の見学、介助などを行う。
- ③ 保険医の登録（受付）が済み、臨床スキル確認項目①～⑯を修了した者に、患者の配当を開始する。

(2) 研修内容（臨床スキル確認項目）

- ① クラウン・FMC 支台歯形成
- ② インレー(Ⅱ級)支台歯形成
- ③ 咬合診断（口腔内印象、模型作製、フェースボウトランスファー、チェックバイト、咬合器装着）
- ④ 歯内療法（歯内療法処置）

- ⑤ 口腔内診査（相互）
- ⑥ CR 充填（窩洞形成含む）
- ⑦ X線（デンタル、パノラマ）撮影・読影
- ⑧ 口腔ケア（染め出し・ブラッシング）
- ⑨ 乳歯の予防填塞
- ⑩ P-検査、除石
- ⑪ カルテ記載（POMR、保険診療・点数算定法）
- ⑫ 医療安全・感染防止（手指消毒・無菌処置消毒実習）
- ⑬ 浸潤麻酔
- ⑭ 口腔内写真の撮影
- ⑮ 口腔粘膜細胞診
- ⑯ 接遇
- ⑰ 【BLS・AHA（American Heart Association）研修】

7. 臨床研修施設の概要

①単独型臨床研修施設

福井赤十字病院

②研修管理委員長

高木 治樹 （院長）

③プログラム責任者

山田 和人 （歯科部長）

④事務部門責任者

木村 正二 （事務部長）

⑤研修期間

2022年4月1日～2023年3月31日

8. 募集及び採用方法

①採用方法

歯科医師臨床研修マッチング協議会の歯科マッチングによる。

（選考試験、提出書類により採用希望順位を決定する。）

②対象者

(1) 2022年4月1日以降に歯科医師免許を取得する者（取得予定者も含む）

(2) 歯科医師臨床研修マッチング協議会の歯科マッチングに参加する者

③選考試験日

8月～9月中開催予定

④選考会場

福井赤十字病院

⑤提出書類

- (1)願書（所定の様式を使用のこと）
- (2)履歴書（所定の様式を使用のこと）
- (3)成績証明書
- (4)自己推薦書（A4用紙に志望理由、自己PR等）

⑥応募期間

選考試験日の7営業日前まで（必着）

問合せ先

〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号

福井赤十字病院 人事課 教育研修推進室

TEL 0776-36-3630（代表） / FAX 0776-36-4133

9. 処遇

①常勤又は非常勤の別

常勤

②基本手当

月額292,000円

③賞与

年額320,000円

④勤務時間

月～金 8:30～17:00（休憩45分間）

⑤休日

土日祝祭日、年末年始、特別有給休暇（結婚、忌服等）

⑥有給休暇

有（10日）上記休日含まず

⑦時間外勤務

原則として無

⑧日・当直

なし

⑨宿舍

有（月額22,000円）

⑩住居手当

有（上限28,500円）※独身寮利用を除く

⑪社会保険

健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険等

⑫歯科医師賠償責任保険

団体保険は病院で加入

⑬外部の研修活動

AHAのBLS研修（費用は半額補助）、学会・研究会への参加可（規則により旅費支給）

⑭その他

院友会（職員互助会）

- ・運動部、文化部、職員旅行
- ・職員用食堂

10. 研修プログラムの概要

1) 単独研修方式

(1) 福井赤十字病院プログラム

4月の研修後、5月からは当院の歯科、歯科口腔外科での研修にて、歯科医療及び全身管理を中心とする包括的歯科医療の基本的技能を、指導医の指導の下で習得する。また、口腔外科専門医・指導医が口腔外科分野における日常臨床での診療のコツや様々な症例の提示等、さらには研修医に課せられた症例検討・症例報告のプレゼンテーションや凝縮ポートフォリオ作成の支援、指導を行う。技工操作のスキルの向上を目指して、配当患者の技工物の一部（個人トレー、暫間被覆冠など）を作製する。

11. 歯科医師臨床研修の一般歯科治療

厚生労働省が設定する基本習熟・習得コースを反復実施する。

I. 【基本習熟コース】

『一般目標』

個々の歯科医師が患者の立場に立って独立した歯科医療が実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

1) 医療面接

【一般目標：GIO】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。（修了判定の評価基準：合計10症例以上経験していること）

【行動目標：SBOs】

- コミュニケーションスキルを実践する。
- 病歴（主訴、現病歴、既往歴及び家族歴）聴取を的確に行う。
- 病歴を正確に記録する。
- 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- 患者の自己決定を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）
- 患者の心身におけるQOL（Quality Of Life）に配慮する。
- 患者教育と治療への動機付けを行う。

2) 総合診療計画

【一般目標：GIO】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。（修了判定の評価基準：合計10症例以上経験していること）

【行動目標：SBOs】

- 適切で十分な医療情報を収集する。

- ii) 基本的な診察・検査を実践する。
- iii) 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- iv) 得られた情報から診断する。
- v) 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- vi) 十分な説明による患者の自己決定を確認する。

3) 予防・治療基本技術

【一般目標：GIO】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本技術を身に付ける。
(修了判定の評価基準：合計 10 症例以上経験していること)

【行動目標：SBOs】

- i) 基本的な予防法の手技を実施する。
- ii) 基本的な治療法の手技を実施する。
- iii) 医療記録を適切に作成する。
- iv) 医療記録を適切に管理する。

4) 応急処置

【一般目標：GIO】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。(修了判定の評価基準：合計 5 症例以上経験していること)

【行動目標：SBOs】

- i) 疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- ii) 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- iii) 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

5) 高頻度治療

【一般目標：GIO】

一般的な歯科診療に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。(修了判定の評価基準：合計 10 症例以上経験していること)

【行動目標：SBOs】

- i) 齶蝕の基本的な治療を実践する。
- ii) 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- iii) 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- iv) 抜歯の基本的な処置を実践する。
- v) 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

6) 医療管理・地域医療

【一般目標：GIO】

歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。(修了判定の評価基準：レポートを 1 例以上提出すること)

【行動目標：SBOs】

- i) 保険診療を実践する。

- ii) チーム医療を実践する。
- iii) 地域医療に参画する。

II. 【基本習得コース】

『一般目標』

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について、知識、態度及び技能を習得する態度を養う。

1) 救急処置

【一般目標：GIO】

歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。(修了判定の評価基準：合計 10 症例以上経験していること)

【行動目標：SBOs】

- i) バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- ii) 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- iii) 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- iv) 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- v) 一時救命処置を実践する。
- vi) 二次救命処置の対処法を説明する。

2) 医療安全・感染予防

【一般目標：GIO】

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。(修了判定の評価基準：レポートを 1 例以上提出すること)

【行動目標：SBOs】

- i) 医療安全対策を説明する。
- ii) アクシデント及びインシデントを説明する。
- iii) 医療過誤について説明する。
- iv) 院内感染対策 (Standard Precautions を含む。) を説明する。
- v) 院内感染対策を実践する。

3) 経過評価管理

【一般目標：GIO】

自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断および治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。

(修了判定の評価基準：合計 10 症例以上経験していること)

【行動目標：SBOs】

- i) リコールシステムの重要性を説明する。
- ii) 治療の経過を評価する。
- iii) 予後を推測する。

4) 予防・治療技術

【一般目標：GIO】

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

(修了判定の評価基準：レポートを1例以上提出すること)

【行動目標：SBOs】

- i) 専門的な分野の情報を収集する。
- ii) 専門的な分野を体験する。
- iii) POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。
- iv) EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。

5) 医療管理

【一般目標：GIO】

適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。(修了判定の評価基準：レポートを1例以上提出すること)

【行動目標：SBOs】

- i) 歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ii) 常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。
- iii) 適切な放射線管理を実践する。
- iv) 医療廃棄物を適切に処理する。

6) 地域医療

【一般目標：GIO】

歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。

(修了判定の評価基準：レポートを1例以上提出すること)

【行動目標：SBOs】

- i) 地域歯科保健活動を説明する。
- ii) 歯科訪問診療を説明する。
- iii) 歯科訪問診療を体験する。
- iv) 医療連携を説明する。

Ⅲ. その他のコース (今後の多様な歯科医療ニーズに対応できる診療能力の習得・先進的医療技術の理解)

1) 保険診療に取り入れられた新たな技術・術式の習得

- a 舌接触補助床の作成、舌圧検査
- b 下顎運動測定と咀嚼能力測定、
- c CAD/CAM による冠作製、
- d ファイバーポストを用いた支台築造、
- e 間接法を用いたシリコーン系軟質裏装材による下顎総義歯の裏装

2) 最新の歯科専門的・先進的医療技術の理解

(1) 高度な歯科医療内容の理解

- a 口腔ケア、ブラッシング

- b 歯内療法
 - c 歯周病
 - d 補綴、歯周病など
 - e 補綴
- (2) 歯科医療技術のスキルアップ実習
- a 歯科用レーザー治療の実践
- 3) 最新の歯科材料の理解
- a 印象材
 - b セメント
 - c ボンディング材
 - d ファイル
 - e コンポジットレジン
 - f 予防用品
- 4) 全身管理に関する研修（麻酔科による全身管理研修）
- a 静脈確保、気管挿管（マネキン実習）
 - b 静脈確保（プロポフォール）
 - c 医療面接（静脈内鎮静法、全身麻酔法の術前説明と病歴聴取）
気管挿管全身麻酔管理、静脈内鎮静法管理（患者研修）
- 5) 病棟研修
- ① 入院患者の口腔ケア・口腔リハビリ・周術期歯科診療（介助・診療参加）
 - ② 歯科で入院中の患者の歯科治療（介助・診療参加）
 - ③ 歯科以外で入院中の患者の歯科治療（介助・診療参加）
 - ④ 多職種連携（医師・看護師・薬剤師・放射線技師・臨床検査技師等）

12. 研修の評価法

1) 学修ポートフォリオ

元ポートフォリオ、凝縮ポートフォリオにより評価する。

- 2) 毎日の記録、体験シート、一週間の振り返り（臨床研修歯科医手帳など）により評価する。
- 3) 臨床スキルおよびレポートをルーブリックにより評価する（研修評価帳）。
- 4) 360度(コ・デンタルスタッフ、同僚・先輩歯科医など)による診療評価。
- 5) 症例報告・症例検討のプレゼン、スモールグループディスカッションをルーブリックにより評価する。

1 3. 研修協力施設

1) 永平寺町保健センター管轄の施設にて、1歳半、3歳児の歯科健診を体験する。

(研修実施責任者 永平寺町福祉保健課長 木村 勇樹)

2) 訪問歯科診療

近隣の開業歯科医院の中で訪問診療を数多く実施している施設で体験する

訪問歯科診療を実施する研修協力施設・・・坂野歯科医院

(研修実施責任者 医院長 坂野 彰)

研修施設一覧 (単独研修方式・プログラム)

【単独型臨床研修施設】

研修施設番号	施設名	院長
050484	福井赤十字病院	高木 治樹

【研修協力施設】

研修施設番号	施設名	研修実施責任者
190013	坂野歯科医院	坂野 彰
190014	永平寺町保健センター	木村 勇樹